

2020年11月4日

報道ご関係各位

公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

改元記念シンポジウム

『古代首都なにわと八十島祭 (やそしままつり)』 ～古きを知り・大阪の明日を想う～ (11月30日開催) 告知とご取材のお願い

平素は当協会の活動に対してご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当協会では、標記シンポジウムを【オンライン】と【会場来場】の両方で開催いたします。古代大阪では、天皇の即位儀礼の一つである宮中祭祀「八十島祭」が大嘗祭の翌年に行われていました。大阪湾に浮かぶ「難波八十島」を日本国土に見立てて島々の御霊を新天皇の衣に付着させ、国家の繁栄・安寧を祈ったといわれています。

平成から令和への御代替わりを機に、その伝統を掘り起こし、大阪の悠久の歴史に思いをいたすことで、大阪の文化・歴史資産の奥深さを再認識し、関西のこれからについて、ともに考える機会となればと存じます。同時に、昨今の状況下、経済活動も人心も沈みがちですが、なにわ大阪のアイデンティティーを見つめ直し、開催まで5年を切った2025年大阪・関西万博に向けて弾みをつける一翼を担えればと考えております。

時節柄ご多用のこととは存じますが、上記趣旨をご理解賜り、広く告知いただきますとともに、お時間が許せば是非ご取材賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

----- 記 -----

名称：改元記念シンポジウム『古代首都なにわと八十島祭 (やそしままつり)』
～古きを知り・大阪の明日を想う～

日時：2020年11月30日（月）13時～16時30分終了予定

会場：(来場の場合) 松下IMPホール (大阪市中央区城見 1-3-7)

※オンラインでのご参加を中心に募集しております。

※参加無料

主催：公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

共催：公益財団法人 大阪観光局

一般社団法人 フェスティバーロ

後援：公益社団法人 関西経済連合会

一般社団法人 関西経済同友会

※ 本シンポジウムは、令和2年度日本博イノベーション型プロジェクト助成（文化庁/独立行政法人日本芸術文化復興会）を受けて実施いたします。

■プログラム概要（※詳細は添付チラシにも記載しております）

【第1部】

◎基調講演「八十島祭」岡田 莊司 氏（國學院大學名誉教授）

◎基調講演「前近代日本の価値を情報発信する方法」

ロバート キャンベル 氏（国文学研究資料館長）

◎パネルディスカッション

パネリスト 高島 幸次 氏（大阪大学招聘教授）

（登壇者） 玉岡 かおる 氏（作家、大阪芸術大学教授）

岡田 莊司 氏（國學院大學名誉教授）

ロバート キャンベル 氏（国文学研究資料館長/オブザーバー）

総合司会 渡邊 あゆみ氏（NHK 放送研修センター エグゼクティブ・アナウンサー）

【第2部】

◎令和奉祝芸能の披露

奉祝 和太鼓「八十島太鼓」 生國魂神社

奉祝 神楽舞「生國魂の舞」 生國魂神社

「紅わらべ」 大阪天満宮

◎先端技術を活用した歴史や文化の紹介

絵巻「八十島祭絵詞」（4K動画）

能「生國魂」（AR＝拡張現実）

■お申込み

はがき、FAX、Eメールのいずれかで下記を明記し〈申込先〉までお申し込みください。

(1)氏名 (2)郵便番号・住所 (3)年齢 (4)電話番号 (5)参加希望人数

(6)来場希望かオンライン参加希望か (7)オンライン参加の場合はメールアドレス

〈申込先〉 はがき 〒556-8666（住所不要）産経新聞開発「八十島シンポ」係

FAX 06-6633-2709（件名に「八十島シンポ」と明記）

Eメール yaso@esankei.com（件名に「八十島シンポ」と明記）

〈問合せ〉 06-6633-6834（10時～17時・土日祝休み）

※締め切り 11月16日（月）必着

※定員 会場来場100名・オンライン参加700名（応募多数の場合抽選）

※オンライン参加者には、申込時に記載いただいたEメールアドレスに
アクセス方法等を事務局よりメールにてお知らせいたします。

◎報道関係の方からの、このリリースに関するお問い合わせは、

公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

電話 06-7507-2006 担当 杉浦・川嶋 までお願いいたします。

◎ご案内先：大阪府政記者会・大阪市政記者クラブ